

行財政改革大綱の総括と今後について

1. 第2次石岡市行財政改革大綱の総括について

令和2年度実施率 95.7%

実施項目 46項目中、44項目実施中

※令和3年度末の実施率は97.8%になる見込み



期間内に、ほぼすべての実施項目について、予定通り着手した状況です。計画に掲げた目標と実績が異なる項目は、下図の通りです。

	実施項目	総括コメント
計画目標を上回ったもの 2項目	電子申請サービスの拡大	電子申請項目数等を拡大したところ、申請件数も伸びた。
	市議会のインターネット中継	広報紙やポスターによる周知に努めたこと等により、インターネットアクセス件数が増えている。
計画目標を下回ったもの 4項目	ふるさと応援寄附金の推進	国の指導により、返礼内容の制限が影響し、目標値には達していないが、 計画策定前に比べ、大幅に寄附金額は増加した。
	観光施設借地の公有化	将来にわたり、恒久的に使用していく予定の施設借地について、順次公有化を進めていく予定。所有者の意向や予算等と調整が必要になる。
	多様な施設管理・運営制度の活用	新規に指定管理者制度を導入した施設は少ないものの、 青山フラワーマーケットを店舗展開する㈱パーク・コーポレーションがJVを組み、いばらきフラワーパークの運営に参入した。
	地域優良賃貸住宅ストック活用事業	平成30年位から入居者が減少傾向にある。社会情勢の変化等と照らし合わせ、改善等が必要。

※目標は下回ったが、実施したことにより効果がみられた内容を青色にしています。

2. 行財政改革効果額

80.8億円 (第1次行財政改革大綱の効果額は約25億円)

計画期間内における行財政改革効果額（累計）

1位：公共施設の再編から得られる効果 約30億円（期待値）

2位：ごみ処理広域化による効果 約24億円

3位：ふるさと応援寄附金 約11億円

4位：職員定員管理による効果 約10億円（参考：第1次行財政改革大綱の効果額1位）

5位：市の公有財産（普通財産）の売却合計額 約3.6億円

3. これからの行財政改革について

行財政改革の推進は、全ての組織、政策等で常に意識すべきテーマであるため、市の最上位計画である総合計画に位置付け、進捗管理を行う予定。【施策名：チャレンジする市役所】